



## 8月30日(日)の綾瀬市防災訓練に参加

### 大上地区社協は避難行動要支援者の安否を確認

綾瀬市は、8月30日(日)に本年度も“相模トラフを震源域とした震度6強の大規模地震発生”を想定した総合防災訓練を実施しました。

大上自治会自主防災会は、市の防災訓練要領に従って各区長が避難所運営委員となり、各区の防災リーダーと共に校区内の小中学校4校にそれぞれ集まり、HUG訓練や災害時特設電話、MCA無線電話等の訓練を行ないました。そして大上地区社協は、昨年同様に避難行動要支援者の安否を確認する事を担当して参加しました。

当日は、午前8時30分の防災無線のサイレンと共に各区の理事と会員は、自分と家族の安全を確認した後、担当する避難行動要支援者宅を1軒1軒訪ねて安否の確認を行ない、区ごとに確認結果を大上自治会館に設置されている大上自治会本部へ報告し、午前9時30分に任務は終了しました。ただ6区は、今回実施しませんでした。

現在、市に登録されている大上地区における避難行動要支援者は253名で、今回安否確認が出来たのは6区以外の205名のうちの183名で、確認率は89%でした。今後は、災害が発生した際には自分の安全は自分で守る“自助”と、地域の皆さんが互いに助け合う“共助”をしっかりと出来る体制作りが益々重要といえよう。



避難行動要支援者宅を訪ねて安否を確認

## 大上地区青少年健全育成会と北の台中学校PTAの夏季防犯パトロールに大上地区社協も協力する

大上地区社協の大原理事が運営委員として参画している大上地区青少年健全育成会(細田順一会長)は、8月15日(土)に恒例の大上地区の防犯パトロールを実施しました。

当日は、細田会長以下役員と構成員の20名が大上自治会館に集まり、10名で1班を編成して2班に分かれ、午後7時30分から1時間にわたって大上地域の防犯パトロールを行ないました。

一方、8月27日(木)には、北の台中学校PTA(保坂敦会長)が夜間パトロールを実施。当日は、校区内の蓼川、大上、寺尾地区を4コースに分けて午後6時30分から1時間にわたって行ないました。大上地区は2コースで、大上地区社協からは市ノ澤会長以下9名が参加してパトロールに協力しました。



北の台中学校PTAの夜間パトロール

## 綾北小学校の花壇への水やりが終る

綾北小学校の伝統ある“花いっぱい・花と共に”運動を展開している花壇への水やり作業は、夏休みに入った7月18日(土)から8月30日(日)までの土・日曜日の朝・夕に、大上地区社協の皆さんが協力して行なわれ、猛暑が続いた今夏を無事に乗り越えました。

同校の深谷校長も、皆さんの協力に大変感謝しておられました。協力して下さいました大上地区社協の皆さん、ご苦労様でした。